

# 地方公務員等のくらしと 生きがいなどに関する調査 —概要（その2）



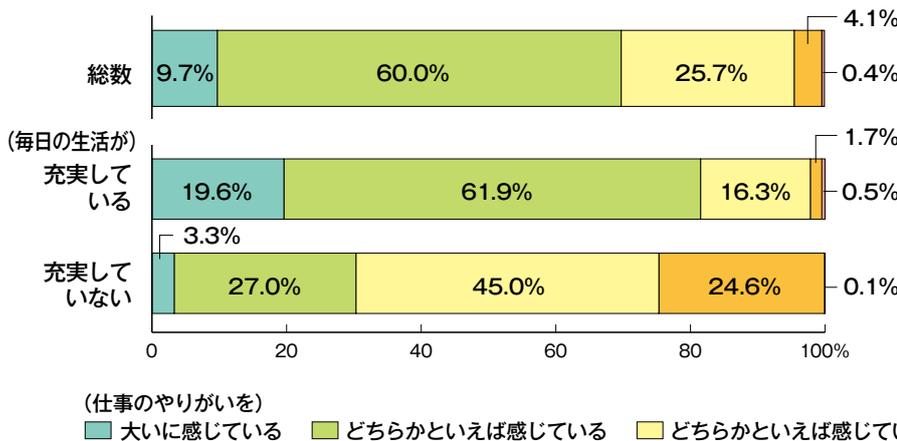
前号に引き続き、昨年度に実施した「地方公務員等のくらしと生きがいなどに関する調査」の概要を紹介します。

今回は、仕事・再就職・家庭経済設計・健康の分野の中から、主な項目を掲載しています。

なお、紹介した内容は調査結果の一部であり、詳細については、各地方公共団体等に報告書を配布しておりますので、今後のライフプラン事業の推進に役立てていただければ幸いです。

## 現在の仕事へのやりがい

設問 「現在の仕事にやりがいを感じていますか」



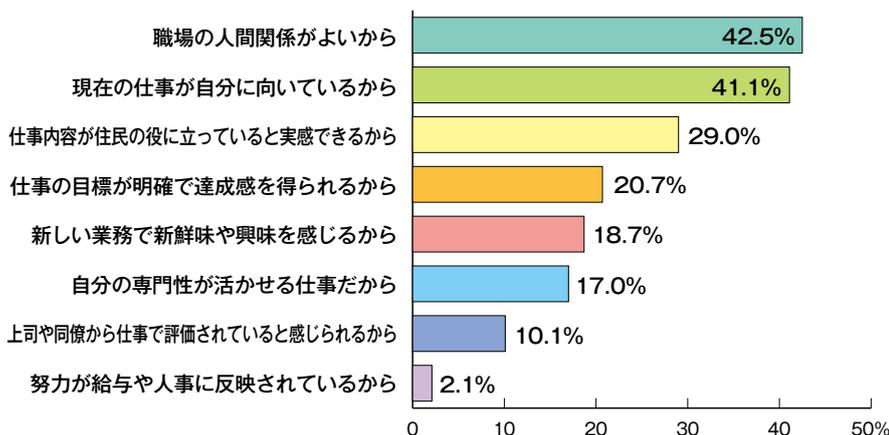
◎「感じている（計）」は約7割

「大いに感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた「感じている（計）」は約7割となっています。

毎日の生活の充実度とクロスさせて見ると、「感じている（計）」は充実している人で8割超であるのに対し、充実していない人では3割程度に下がり、仕事へのやりがいとの相関が認められます。

## 仕事にやりがいを感じる理由

設問 (現在の仕事にやりがいを「大いに感じている」又は「どちらかといえば感じている」方だけにお聞きします)  
「現在の仕事にやりがいを感じている主な理由をお答えください」(複数回答)



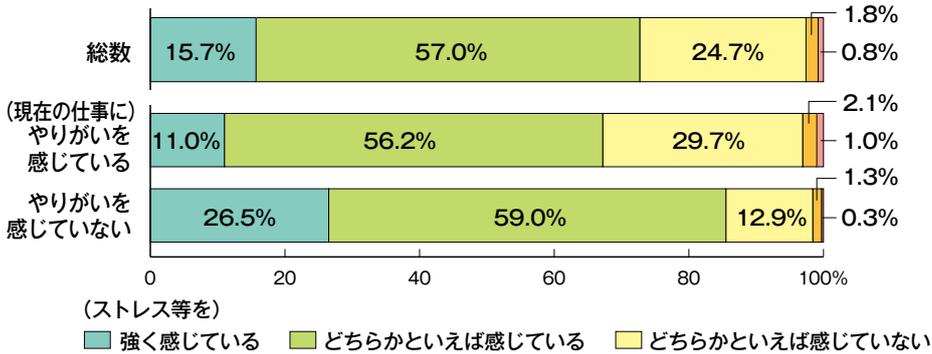
◎「職場の人間関係がよいから」が4割強と最も多い

左のデータを年代別、男女別に分析してみると、「職場の人間関係がよいから」は年代の低い世代で割合が高く、男性35歳未満で5割近く、女性35歳未満で6割超となっています。

また、「仕事内容が住民の役に立っていると実感できるから」は男性55歳以上で4割半ばと他の年代より高くなっています。

## 仕事での不安、悩み、ストレス

設問 「今までの仕事や今後の仕事で不安、悩み、ストレスを感じていますか」

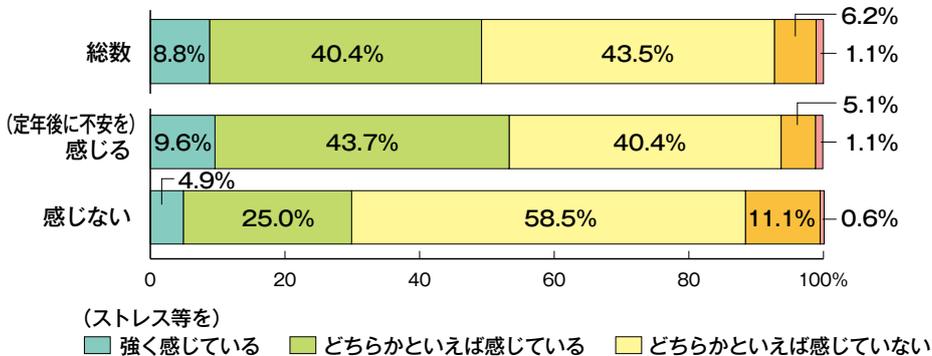


◎「感じる(計)」が7割強

現在の仕事のやりがいとクロスしてみた場合、やりがいを感じている人はストレス等を「感じる(計)」(67.2%)が7割強であるのに対し、仕事にやりがいを感じていない人では、ストレス等を「感じる(計)」(85.5%)が8割台半ばと高く、仕事のやりがいの相関が認められます。

## 家庭や私生活での不安、悩み、ストレス

設問 「家庭や私生活で不安、悩み、ストレスを感じていますか」

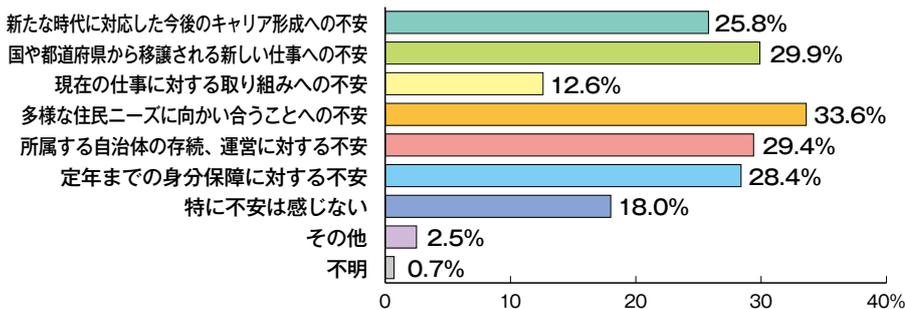


◎「感じる(計)」は半数近く

定年退職後の生活への不安とクロスしてみた場合、定年後に不安を感じる人はストレス等を「感じる(計)」(53.3%)が5割を超えているのに対し、定年後に不安を感じない人は、ストレス等を「感じる(計)」(29.9%)が3割と少なく、定年退職後の生活不安との相関が認められます。

## 地方分権に対する不安

設問 「地方分権が推進されていますが、不安に思うところはありますか」(複数回答)



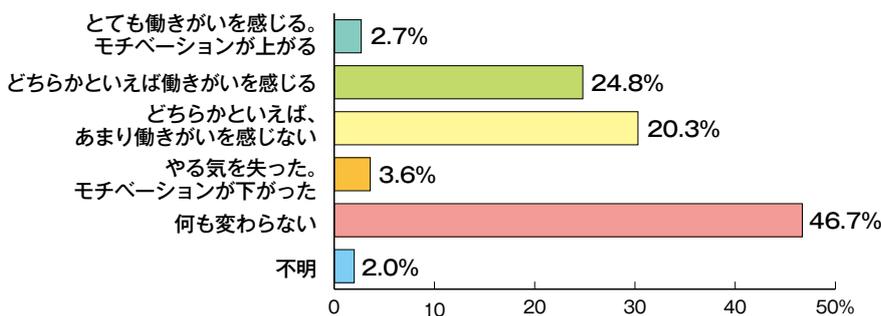
◎「多様な住民ニーズに向かい合うことへの不安」が最も多い

男女別では、「多様な住民ニーズに向かい合うことへの不安」(男性31.4%、女性37.6%)「国や都道府県から移譲される新しい仕事への不安」(男性27.6%、女性34.7%)「新たな時代に対応した今後のキャリア形成への不安」(男性24.0%、女性29.6%)は、男性より女性に多く見られます。

一方、「特に不安は感じない」(男性21.0%、女性12.2%)は、女性より男性に多く見られます。

## 地方分権の推進による仕事に対する「働きがい」の変化

設問 「地方分権の推進により、仕事に対する“働きがい”はどのように変わりましたか、又は変わるとお思いますか」

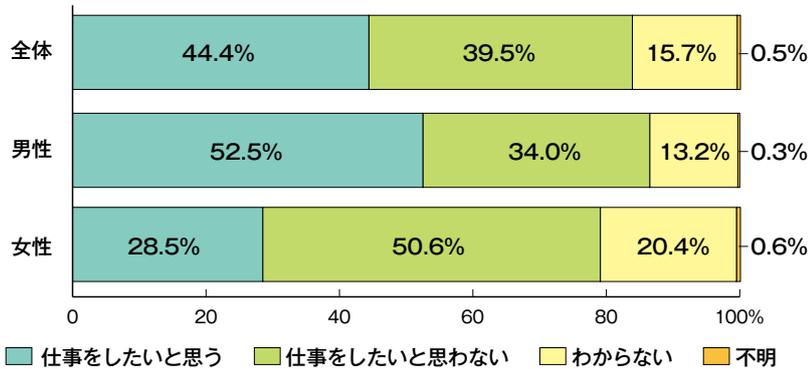


◎「何も変わらない」が半数近くで最も多い

男女別では、「とても働きがいを感じる」と「どちらかといえば働きがいを感じる」を合わせた「感じる(計)」(男性30.6%、女性21.0%)は、女性より男性に多く見られます。一方、「何も変わらない」(男性44.3%、女性51.5%)は、男性より女性に多く見られます。

## 定年退職後の就業希望

設問 「定年退職後、仕事をしたいと思いますか」

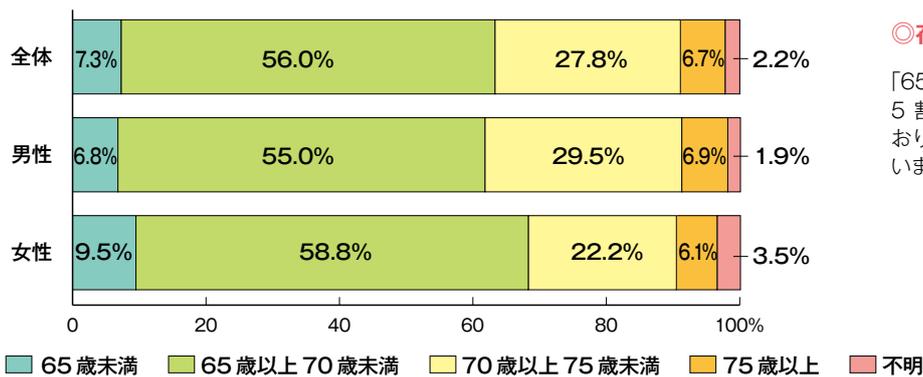


◎「仕事をしたいと思う」が4割台半ば

男女別では、「仕事をしたいと思う」（男性 52.5%、女性 28.5%）は女性より男性に多くなっています。年代別もあわせて見ると、「仕事をしたいと思う」は定年を前にした男性 55 歳以上（68.5%）で多くなり、男性 40 歳未満では 4 割台と低くなっています。

## 定年退職後、何歳まで働きたいか

設問 「60歳で定年退職した場合、何歳まで働きたいですか」

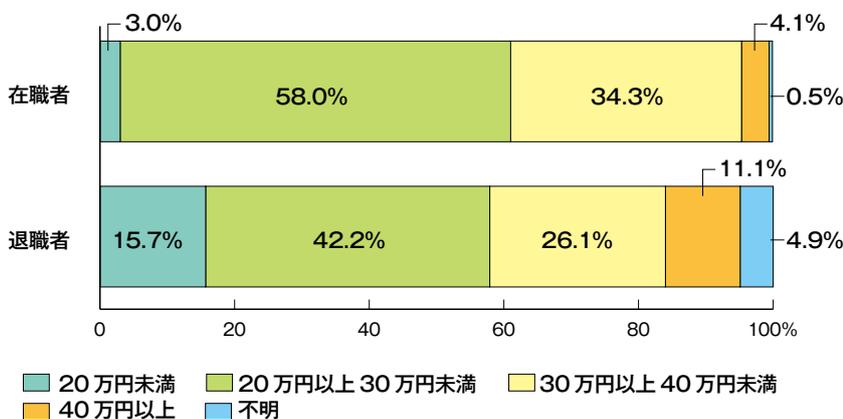


◎在職者は平均 67.3 歳

「65 歳以上 70 歳未満」（56.0%）が最も多く 5 割台半ばでした。平均は 67.3 歳となっており、前回調査の 66.5 歳よりも高くなっています。

## 退職後の生活費

設問 在職者「ある程度ゆとりある生活を営むためには、1ヶ月いくらぐらい必要だと思いますか」  
退職者「世帯の平均的な1ヶ月の生活費はどの程度ですか」

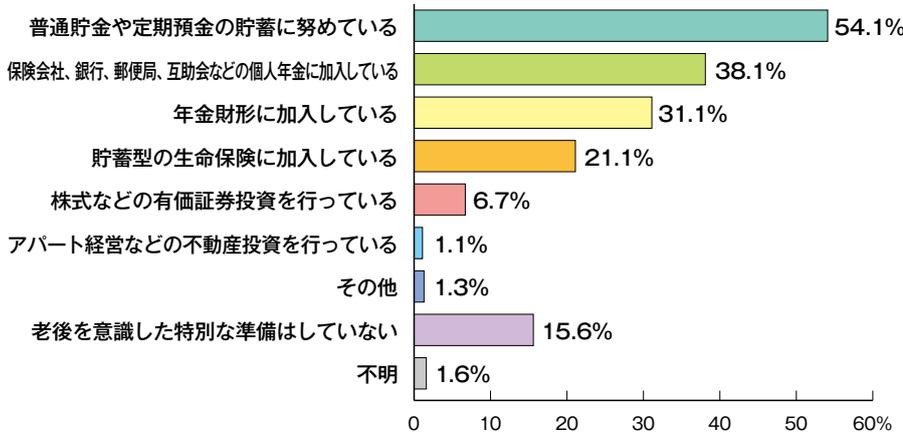


◎退職者の1ヶ月あたりの生活費は平均 25.2 万円

在職者が必要と考える 1ヶ月あたりの退職後のゆとりある生活費は「20 万円以上 30 万円未満」が最も高くなっています。一方、退職者の実際の生活費は平均 25.2 万円となっています。

## 老後のための経済的準備の方法

設問 「老後の経済的準備として行っているものはありますか」(複数回答)

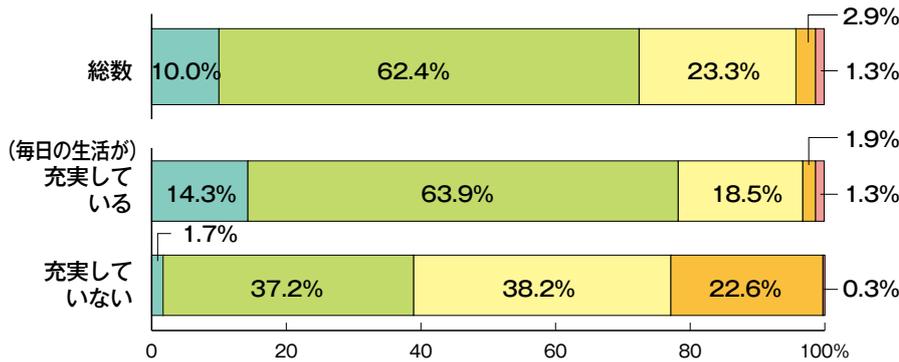


◎「普通預金や定期預金の貯蓄」が最も多く過半数

男女別で見ると、老後の経済的準備は男性より女性に多くあげられています。特に、「保険会社、銀行、郵便局、互助会などの個人年金に加入している」(男性33.3%、女性47.4%)と「年金財形に加入している」(男性27.4%、女性38.3%)は10ポイント以上の差が見られます。

## 退職者の現在の暮らし向き

設問 「家計の状況から見た、現在の暮らし向きはどうか」



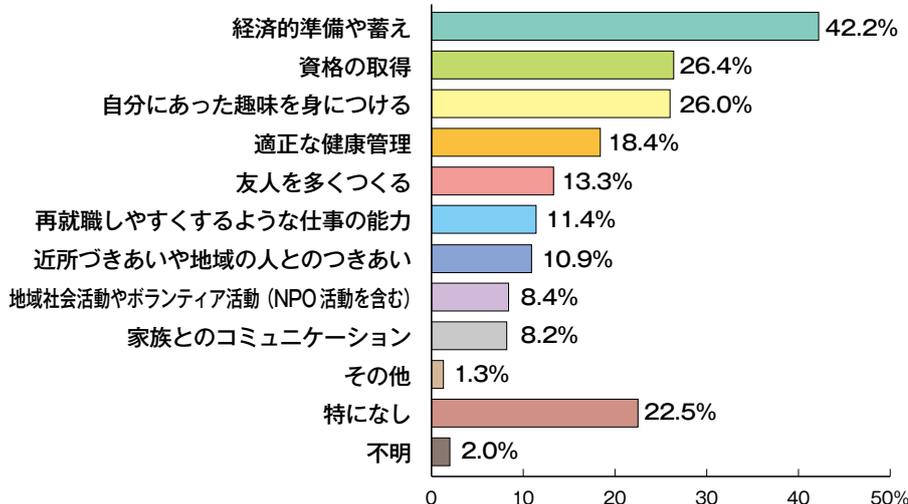
◎「心配はない(計)」が7割強

毎日の生活の充実度とクロスしてみた場合、充実している人は「心配ない(計)」(78.2%)が「心配である(計)」(20.4%)を大きく上回っているのに対し、充実していない人では「心配である(計)」(60.8%)が6割を占め、家計に起因する暮らし向きとの相関が認められます。

■ 家計にゆとりがあり、全く心配なく暮らしている ■ 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている  
■ 家計にゆとりがなく、多少心配である ■ 家計が苦しく、非常に心配である ■ 不明

## 退職者が感じる定年退職前にやっておけばよかったこと

設問 「定年退職前にもっとやっておけばよかったと思うことはありますか」(複数回答)



◎「経済的準備や蓄え」が4割強と最も多い

男女別に見ると、「経済的準備や蓄え」「資格の取得」は女性より男性にやや多くあげられています。また、現在の暮らし向きとクロスしてみた場合、心配である人は「経済的準備や蓄え」(71.4%)が7割超と際だって多くなっています。